

見守り 新鮮情報

第76号

事例 1 自宅浴室で**入浴中**に滑って**転倒**し、
右腕の肩に近いところを**骨折**した。

(事故発生：2009年11月、当事者：80歳代 女性)

事例 2 シャワーの**熱湯**を両足に浴びて、
足首から先に**熱傷**を負った。

(事故発生：2009年3月、当事者：80歳代 男性)

事例 3 いつまでも**入浴**しているのを

不審に思った家族が、**2時間後**に

浴槽内で**顔面水没**の状態で

いるのを発見した。

その後、**死亡**が確認された。

(事故発生：2009年11月、
当事者：90歳代 男性)



骨折・やけど・突然死… お風呂での危険!

ひとこと助言

すべるから
気をつけて!



見守るくん

●入浴中の事故には、主に、浴室が滑りやすいことやめまい・ふらつきによって起きる「転倒事故」、浴槽のお湯やシャワーが高温になっていたための「熱傷」、室温差が引き金になったものや疾患などによって起こる「溺水」があります。

●転倒を防ぐためには、浴室の出入り口や浴槽付近に手すりがあるとよいでしょう。

●入浴中に急死に至る事故の約8割は60歳以上の人で起きていると言われています。重大事故を防ぐために、湯温は39度から41度くらいにし、長湯をしないようにしましょう。また、寒い季節には脱衣所や浴室を暖めてから入る、食事直後や深夜に入浴しない、などの工夫も必要です。

本情報は、国民生活センター危害情報システム、公益財団法人東京救急協会の情報をもとに作成しています。